



10月にメトロセブ都市開発フォーラム 2018 を開催しました。

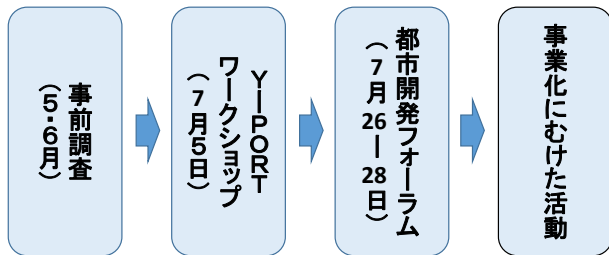
～フィリピン・セブが抱える都市課題に対して横浜発都市ソリューションを提案しました～

Y-PORT 事業では、市内企業と連携し、海外都市の都市課題の解決に資する案件発掘と、事業化に向けた企業支援に取り組んでいます。

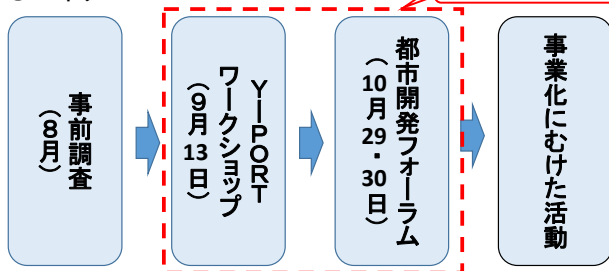
今年度は、ベトナム・ダナン及びフィリピン・メトロセブを対象に下図の日程で Y-PORT ワークショップ(横浜市内)と都市開発フォーラム(現地)を開催しました。

本稿では、メトロセブを対象とした都市開発フォーラム等の開催結果について御報告します。

●ベトナム・ダナン



●フィリピン・セブ



第 27 回 Y-PORT ワークショップ 開催結果

日程：2018 年 9 月 13 日(木) 14:00～16:00

場所：横浜国際協力センター6F 会議室

<参加者数>

参加者数：27 名

※横浜市(国際局及び資源循環局)関係局含む

メトロセブ都市開発フォーラム 2018 に向けて、メトロセブ開発調整委員会(MCDCB)に提案する横浜発都市ソリューション(メガセブ開発目標(MCDGs)への貢献、省エネ、排水処理の3分野)についてグループディスカッションを行いました。



2. メトロセブ都市開発フォーラム 2018 開催報告 (10月29日～30日)

横浜市内企業を中心に 11 社・団体の参加のもと 2018 年 10 月 29 日～30 日にメトロセブ都市開発フォーラム 2018 を開催しました。総勢 120 名を超える参加があり 2 日間にわたり充実した現地調査と闊達した議論が行われました。1 日目に参加企業等との現地合同調査を行い、2 日目のフォーラムにおいて、世界銀行・都市専門官による横浜市の持続的都市開発等の基調講演、

1. 第 27 回 Y-PORT ワークショップ(9 月 13 日)

横浜市内企業の皆様を中心に 15 社・団体、27 名の方に参加いただき、2018 年 9 月 13 日に第 27 回 Y-PORT ワークショップを開催しました。

MCDGs(メトロセブの5か年目標)に貢献するプロジェクト、低炭素都市づくり及びエネルギー管理、政府機関・国際機関との協力可能性等の幅広い分野にわたって、議論しました。

メトロセブ都市開発フォーラム 2018 開催結果

日程：10月29日(月) 現地調査
10月30日(火) フォーラム

<参加機関>

フィリピン中央省庁・州: フィリピン環境天然資源省、セブ州、ビサヤ地区大統領補佐官室

メトロセブ行政機関等: メトロセブ構成自治体、メトロセブ開発調整委員会、メトロセブ水道区(MCWD)

フィリピン民間企業・団体: Manila Water, Jpark リゾートホテル、フィリピン国中部ビサヤ地区電力配送電会社、セブ市等の商工会議所 等

横浜市: 国際局、温暖化対策統括本部、環境創造局

開発援助機関・国際機関: 世界銀行、国際協力機構(JICA)

民間企業・団体: AGC(株)、アムコン(株)、(株)グーン、日出産業(株)、JFE エンジニアリング(株)、ジャステック(株)、日本工営(株)、Sojitz Philippines Corporation、武松商事(株)、テスコ(株)、(一社)横浜環境整備機構(五十音順)

(1) 現地調査

10月29日に、セブ市内の大型ショッピングモール・Ayala Mall (Cebu Holdings)、CEBU IT パーク (Manila Water)、マクタン島東海岸にある Jpark ホテル(J Park Island Resorts)のエネルギー管理及び排水処理に関する調査を市内企業と行いました。現地では各管理者から、施設の概要、運営状況・課題について詳細な説明を頂きました。



Cebu Holdings 社による Ayala Mall での取組説明



Ayala Mall のエネルギー管理状況の調査



IT パークの排水処理設備(反応槽)



J Park Island Resorts による説明



Jpark ホテルの排水処理設備

(2) フォーラム

10月30日に、セブ市内にてフォーラムを開催し、メトロセブの持続可能な開発に資する3つの議題について発表が行われました。

横浜側からの発表では、横浜市の都市開発に係る知見の共有のみならず、市内企業による都市ソリューションが提案され、メトロセブ構成自治体・関係団体、また多くの現地民間事業者等と意見交換を行いました。

① セッション1：MCDGsに貢献し得る事業

MCDGsへの貢献をテーマに「廃棄物処理」及び「リゾートホテル及び商業施設における排水処理」に関する発表がありました。

廃棄物処理及びリサイクルについては、(株)グリーンからマンドラウエ市と進めている廃プラスチック分別リサイクルの取組の紹介があり、MCDGsに如何に貢献しうるかについて提案がありました。また、武松商事(株)から、食品残渣のリサイクル技術の紹介がありました。

排水処理については、メトロセブ水道区から、汚水による海洋汚染が世界的なニュースになったボラカイリゾートの事例が紹介され、この環境課題等に対して、アムコン(株)から汚泥処理技術やJICA実証事業の実績について、日之出産業(株)から微細気泡による水処理技術について、テスコ(株)から水処理施設の運用・保守技術について、それぞれ紹介がありました。セッション1でソリューション提案を行った横浜市内中小企業の様子は以下のとおりです。



廃プラ分別・リサイクル事業：(株)グリーン



食品残渣のリサイクル技術：武松商事(株)



汚泥処理技術：アムコン(株)



微細気泡による水処理技術：日之出産業(株)

② セッション2：低炭素都市づくり及びエネルギー管理

横浜市温暖化対策統括本部から本市のゼロカーボンに向けた取組を紹介しました。また、AGC(株)から環境建築素材を用いたグリーンビルディング技術の紹介がありました。今年、低炭素都市づくり条例を制定したセブ州からは多くの質問が挙がり、今後の展開に向けた意見交換が行われました。



横浜市国際局長の講評



横浜市地球温暖化対策統括本部から本市施策の紹介

③ セッション3: 政府機関・国際機関との協力可能性

JICA、世界銀行、フィリピン国政府機関等がパネリストとして登壇し、メトロセブの都市課題解決に向けた議論が行われました。JICA からは開発協力のための各種制度や実績、フィリピン環境天然資源省による JCM 制度の紹介や事業事例が紹介されました。さらに、世界銀行やビサヤ地区大統領補佐官室から、横浜の経験の活用等にかかる期待のコメントがあり、参加者との意見交換が行われました。横浜市の経験をメトロセブの発展に活かすことは非常に重要であることが双方で確認されました。



パネルディスカッションの様子

④ 総括

横浜市国際局長及び MCDCB 都市部会議長より、フォーラム等を通じて得られたメトロセブのニーズに基づいた横浜企業の技術・サービスを活用した都市ソリューション・事業形成に関して、講評がありました。

以下は、フォーラムや都市間連携の枠組みのもとで挙げられている現地ニーズや都市ソリューション案の一例です。

| ニーズ | 都市ソリューション |
|----------------------|--------------------------------------------------------------|
| 適切な土地利用計画 廃棄物量の増加 | ・低炭素都市づくりのノウハウ ・分別や回収ノウハウ ・食品残渣リサイクルや廃棄物発電等の新リサイクルシステム |
| 排水にかかる新基準への対応/汚泥処理 | ・メトロセブでの汚泥処理場建設 ・商業施設毎の排水処理施設の改善及び汚泥処理の高効率化 |
| 不安定な電力と省エネ・再生可能エネルギー | ・デマンドレスポンス等による統合型エネルギー制御システム |
| グリーンビルディングの促進 | ・エネルギー効率化等によるグリーンビルディング事業 |
| 台風や洪水、火災などの災害に対する脆弱性 | ・災害リスク削減に資するコマンドセンターの新設 ・河川や調整池等のリハビリによる洪水管理 ・防火水槽の導入等 |

3. フォローアップ調査

都市ソリューション案の実現に向けて、2019 年 1～3 月にフォローアップ調査を行う予定です。市内企業の皆様の御関心をお待ちしております。

お問い合わせ先

横浜市国際局国際協力課
〒231-0015 横浜市中区尾上町 1-8
関内新井ビル 3 階
Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp